



Chitose Rotary Club

佐々木会長テーマ
“心ひとつに”

会 長 佐々木 金治郎 副会長 大西 信也 幹 事 佐藤 晴一
会長エレクト 今村 静男 会 計 酒井 宏
第2510地区ガバナー 佐々木 正丞 第7グループ・ガバナー補佐 古川 大之

～ 1月はロータリー理解推進月間 ～

本日の例会 (1月27日 第31回) クラブフォーラム

担当：クラブ奉仕委員会
～ANAクラウンプラザホテル～

2010年～2011年度 第30回(通算2149回)例会報告

日時：2010年1月20日12:30～13:10
場所：ANAクラウンプラザホテル千歳
プログラム：通常例会(市長卓話)
担当：ロータリー情報・定款・細則委員会
司会：SAA・プログラム委員会 中村 清太郎

四つのテスト



新世代・ローターアクト副委員長
菅原 正行

お客様紹介

千歳市長・千歳ロータリークラブ名誉会員
山口 幸太郎 様



会長挨拶

会長 佐々木 金次郎



今年に入りまして、3回目の例会です。先ほど、大西副会長からもお話がありましたが、本日はロータリー情報委員会担当で千歳市長からの卓話をいただくということ、大変お忙しい中、山口市長様にお越しいただきました。大変、ありがとうございます。また、山口市長様には、1月6日の恒例となっている私どもの新年交礼会に出席していただきましたことに、改めて感謝申し上げます。市長様の本日の卓話のテーマは、「みんなで夢実現～千歳のまちづくり」です。今日は、素晴らしいお話をいっぱい聞けるということで、皆さんも期待して聞いていただけたらと思います。

最近、風邪などもはやっているようです。どうか、皆さんも風邪を引かないように、用心していただきたいと思います。

少々PRになるのですが、毎年行われる千歳・支笏湖氷濤まつりは今年で33回目を迎えますが、お陰様でしばれが強いものですから、氷は99%出来あがっています。ちょっと太くなったところは削っているという状況になっていて、うれしく思っております。これから、札幌雪まつりを中心とした北海道の冬のイベントが行われますが、支笏湖の氷濤まつりは1月28日が前夜祭で2週間行われますので、会員の皆様も是非お越しください。

幹事報告

幹事 佐藤 晴一



各団体の新年交例会も終わりに近づいてきていて、明日の商工会議所の新年交礼会で、会長・幹事の出席も終わると思います。また、各団体などからのお礼状も届いています。

次週は、クラブ奉仕委員会担当でクラブフォーラムを予定しています。また、月が明けて2月3日については番屋で夜間例会となります。ご案内は、

改めていたします。

また、心配な報告ですが、2名の会員の方が入院されました。1人目は加藤武仁会員で、1月中旬に札幌市福住にある柏葉脳外科に入院されて、手術を受けたということです。来週にもお見舞に行つてこようと思います。2人目は、齊藤公彦会員で、お正月早々転倒されたということで市民病院に入院されています。詳しいことが分かりましたら、改めて報告させていただきます。

ロータリー情報

ロータリー情報・定款・細則副委員長
岩崎 暉久



大分前に、私は出席委員長を仰せつかったことがありました。会場の入口に出席をとる卓があり、出席者の顔を見て出席の印を押すのは今と変わりありませんが、やはり出席者と挨拶を交わすことは、親しみと爽やかさが生じます。

その頃は、メーキャップデーを設け、会員に呼び掛け他のクラブに私を含めて4人くらいでしたが、恵庭やセントラルのクラブ例会に出席し、会長挨拶や幹事報告などを聞き、そのクラブの雰囲気を知ることができました。また、卓話などでは大いに勉強になりました。やはり他クラブ例会に出席することで卓話を素直な気持ちで拝聴し、自分が少し成長したような気持ちになり、こういうことが品格のかなと感じました。ロータリーはやはり出席することが大切だと実感しました。

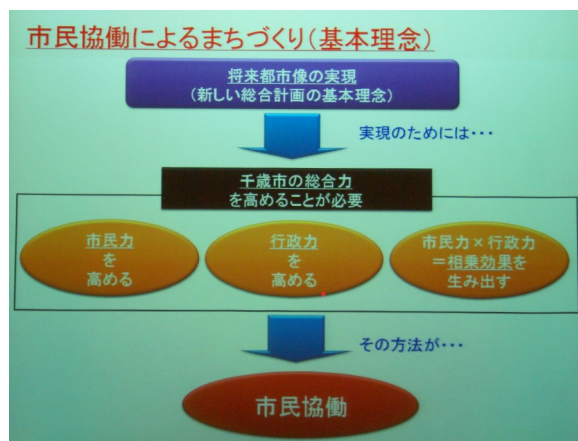
市長卓話

「みんなで夢実現～これからのまちづくり」

千歳市長・千歳ロータリークラブ名誉会員
山口 幸太郎 様



「前回の新年交礼会に出席させていただき、大変楽しい時間を過ごさせていただきましたが、その時に皆さまから千歳奨学基金に篤志を頂きまして、佐々木会長、今村会長エレクトがお見えになりました。改めて感謝申し上げたいと思います。今日は、協働事業の中心にお話しをさせていただこうと思います」とのご挨拶で卓話が始まりました。



自立した地方を実現するために、財源の移譲だけではなく、地方をどう運営していくかという政策を作り上げていくことが必要であり、市民協働という考えによりそれを実現していくとのことでした。

協働事業(制度)	
今年(平成22年度)は、8つの協働事業を実施しています。 市提案型5件、市民提案型3件	
本に親しみ、千歳のまちを知る「出前読み聞かせ」千歳ローターアクトクラブ	
小学校における英語学習	千歳ボランティア通訳クラブ
「広報ちとせ」表紙写真撮影事業	千歳科学技術大学写真部
「男性の料理教室」事業	千歳市食生活改善協議会
みんなで作ろう「丈夫なマッチ棒の家」	(社)北海道建築士会千歳支部
市内石碑・石像などの調査事業	千歳文化財保護協会
市民協働リーダー養成講座 基礎コース	FPスペース千歳
スナッグゴルフ普及振興事業	千歳スナッグゴルフ普及振興会

具体的な市民協働事業の例として、いくつかの紹介がありました。その1つは、平成22年1月から実施している「きふ・とも」で、1年間で総額約100万円、延べ約700件の寄付を集めたそうです。また、平成22年度は、新たに8つの協働事業を実施しています。千歳ローターアクトクラブが実施している、「本に親しみ、千歳のまちを知る『出前読み聞かせ』」もその1つです。



本に親しみ、千歳のまちを知る「出前読み聞かせ」
千歳ローターアクトクラブ

その他にも、「小学校における英語学習」、「『広報ちとせ』表紙写真撮影事業」、「『男性の料理教室』事業」、「市内石碑・石像などの調査事業」、「スナッグゴルフ普及振興事業」などが紹介されました。また、平成23年度の市提案型の新規事業としては、「ジュニア景観士講座『子どもまちなみ探検隊』」、「こども環境教室事業」、「名水と遊ぼう～キッズサマーフェスタ～」などを予定しています。また、市民の皆さんがまちづくりについての情報を得たり、また意見を伝えたりするための、市民参加手続きの例として、いくつかの例が紹介されました。

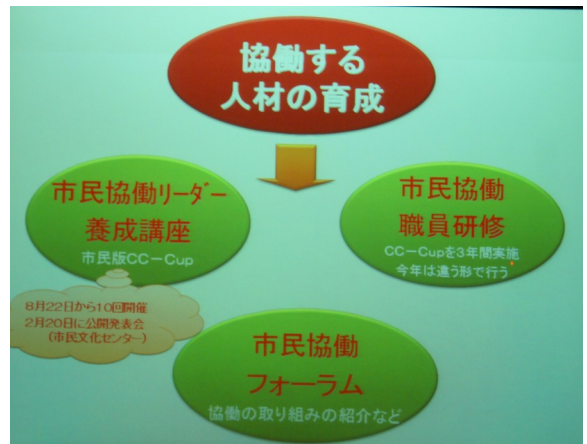
「市民参加手続き」

この制度は、市民生活に関わる事項について、市民説明会やパブリックコメント(意見公募)などを通して、市民に事前に周知し、意見を聴取するものです。

今年実施した主なもの

- 第6期総合計画・・・総合計画審議会、パブリックコメント
- 千歳市庭園都市計画・・・都市計画審議会、パブリックコメント
- 集団資源回収の変更・・・市民説明会
- 第2次環境基本計画・・・パブリックコメント
- 市道除雪・・・市民説明会
- グリーンベルト活性化・・・市民説明会

これらのまちづくりをやっていただく人材を育成するための事業にも取り組んでおり、「市民協働リーダー養成講座」「市民協働職員研修」「市民協働フォーラム」についての説明がありました。



検討中の新たな取り組みの説明もありました。その1つである(仮称)プチ協働事業は、補助額が10万円以下の小額事業に対して、手続きを簡素化して取り組みやすくすることを検討しています。また、協働事業のオープン化(市場化)については、市の事務事業の中から、協働事業として実施可能なものを常に公開し、市民活動団体からの提案を受け付けるそうです。例えば、役所の窓口業務なども、検討に上がったそうですが、これは法律の問題で無理だということが分かったそうです。また、各種審議会等に市民公募でいただく市民に向けて、基礎的な勉強をしていただく(仮称)まちづくり学習塾についての説明もありました。

今後の新たな取り組み(検討中)

～市民協働推進会議からの提言～

- (仮称)プチ協働事業⇒補助額が10万円以下の少額事業向けに、申請手続きを簡素化した補助制度の新設。
- 協働事業のオープン化(市場化)⇒市の事務事業の中から、協働事業として実施可能なものを常に公開し、市民活動団体からの提案を受け付ける。
- テーマ別市民提案型の募集⇒まちづくりの課題や市民ニーズなど市の重点項目をテーマにして提案を募集。
- (仮称)まちづくり学習塾⇒行政活動への市民参加の機会として、各種審議会等の公募委員希望者を対象とした大人の学習塾を設置。

従来から取り組まれている協働事業の紹介もありました。



千歳市奨学基金については、基金が近年取り崩されている状況や、最近の応募者が増えている状況が説明され、市民からの寄附が集まっている状況が紹介されました。また、先日の当クラブからの寄附に対しても、改めてお礼がありました。

千歳市奨学基金への寄附

基金残高の推移(年度末)

元	28,280,000
2	29,380,000
3	36,744,014
4	37,240,000
5	40,080,000
6	42,260,000
7	43,020,000
8	45,470,000
9	47,410,755
10	49,650,000
11	49,650,000
12	49,650,000
13	49,650,000
14	53,650,000
15	53,700,000
16	54,750,000
17	54,515,878
18	61,651,156
19	60,413,156
20	59,912,968
21	57,196,447

平成23年1月13日に千歳ロータリークラブから65,000円のご寄附をいただきました。

平成22年度寄附 現在まで59件 6,292,650円

一人当たり 高校生8万4千円、大学生12万円(昨年492万円(19件)増、高校3万5千円(7件)、大学生7千円(1万円に31件))

対象	金額	予定数
高等専門学校生(1年生から3年生)	月額	30人
高校生	7,000円以内	
専修学校(修業年限が3年以上の高等課程)		
大学生(短期大学含む)	月額	20人
高等専門学校生(4年生、5年生及び専攻科)	10,000円以内	
専修学校(修業年限が2年以上の専門課程)		

最後に「これからは、地方の目線、地方の頭で政策を作っていくにはいけない。これまでは、政策は国が作ってきたので、政策を作るというトレーニングをしてこなかった。これからは、自分たちの町の良いところ引き出していく政策を作る能力を高めなくてはいけない。これからは、人口が減っていく社会。人口が減っていくと、単純に人が減るのではなく、減るべきところは加速的に減っていく。言い換えれば、都会や都市機能が高いところに人が流れていく。町の魅力を高めていかないと、定住人口は増えていかないと、増えないどころか減っていくことに歯止めがかからない。まちの魅力を高める政策を考えていけるような人材を増やさなくてはいけない。その人材のトレーニングになるのが、この協働事業。協働事業の中から、私たちもまちづくりに参加できるのだということを学んでいただければと考えている。奉仕団体である千歳ロータリークラブとしても大いにご支援をいただければありがたい。」とのお話がありました。

2月にお誕生日を迎える奥様

3日 菅原 正行会員の奥様 清美様

おめでとうございます！

出席率

今回：85.7% (1月20日=48/56、実数)
 確定：89.3% (1月6日=50/56、うちメーカー 0名)

スケジュール

(2月のプログラム)

- 3日 (木) 夜間例会(番屋) 担当：親睦活動委員会
- 10日 (木) 通常例会 担当：ロータリー情報委員会
- 17日 (木) 夜間例会(西洋軒) 担当：親睦活動委員会
- 24日 (木) 通常例会(卓話 田口廣・第2510地区WCS副委員長) 担当：国際奉仕委員会 《理事会》

ニコニコBOX

山口 幸太郎 名誉会員

佐々木 金治郎 会長

1月18日、千歳民報に市長を訪問した記事が載りました。

今村 静男 会長エレクト

新年交礼会で皆様からお預かりいたしました善意6万5千円を千歳市奨学基金として、佐々木会長、大澤理事とともに、山口市長様にお渡しして参りました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

佐藤 晴一 幹事

山口市長、本日の卓話よろしく申し上げます。

五十嵐 桂一 会員

昨日、後援会の方々に新年会を開いていただき、たくさんの方々にご挨拶できました。

下山 徹哉 会員

憂鬱だった卓話も終わり、気が抜けたのか風邪を引いてしまいました。今日は山口市長のお話を楽しみにしています。

本日のニコニコ集計 6名 11,000円